

香川高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	通信理論
<b>科目基礎情報</b>					
科目番号	4023		科目区分	専門 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	情報工学科 (2018年度以前入学者)		対象学年	4	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	三木成彦 他 著 「情報理論」 コロナ社				
担当教員	徳永 修一				
<b>到達目標</b>					
1. 情報源のモデルを理解し、情報源が持つ情報量を説明できる。 2. 具体的な情報源記号列を符号化できる。また、逆に符号列を復号できる。 3. 各種情報量を理解し、具体的な通信路記号の符号化と受信した符号の復号・誤り検出・誤り訂正を説明できる。					
<b>ルーブリック</b>					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	情報源のモデルを理解し、情報源が持つ情報量を具体的に説明できる。	情報源のモデルを理解し、情報源が持つ情報量の概要について説明できる。	情報源のモデルを理解し、情報源が持つ情報量について説明できない。		
評価項目2	具体的な情報源記号列を符号化・復号化を説明できる。	情報源記号列を符号化・復号化の概要を説明できる。	情報源記号列を符号化・復号化を説明できない。		
評価項目3	各種情報量を理解し、具体的な通信路記号の符号化と受信した符号の復号・誤り検出・誤り訂正を説明できる。	各種情報量を理解し、通信路記号の符号化と受信した符号の復号・誤り検出・誤り訂正の概要を説明できる。	各種情報量を理解し、通信路記号の符号化と受信した符号の復号・誤り検出・誤り訂正の概要を説明できない。		
<b>学科の到達目標項目との関係</b>					
<b>教育方法等</b>					
概要	通信を高エネルギー・高信頼度で行い、そのセキュリティを確保するための基礎理論を習得する。確率論を基に、情報源の持つ情報量が定量化できることを知る。情報源符号化定理を背景に、通信を高エネルギーで行うことができる符号の作成方法を習得する。各種情報量の意味を知り、与えられた通信路を効率よく使うための手法を知る。通信路符号化定理を背景に、通信を高信頼度で行うことができる符号の作成方法を習得する。				
授業の進め方・方法	教科書を基に学習項目ごとの内容について講義した後、例題を用いて説明する。練習問題についてはレポート課題とするので、各自自習しておくこと。確認の意味での小テストを適宜実施する。				
注意点	オフィスアワー：毎月曜日 放課後～ 17:00				
<b>授業計画</b>					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	1.通信のモデル	通信のモデルを理解する。D2:1	
		2週	2.確率論の基礎 (1)確率, 平均	確率論の基礎を理解する。D2:1	
		3週	2.確率論の基礎 (2)ベイズの定理	ベイズの定理を理解する。D2:1	
		4週	3.情報源符号化 (1)情報源のモデル	情報源のモデルを理解する。D2:1	
		5週	3.情報源符号化 (2)情報量	情報源が持つ情報量を計算できる。D2:2	
		6週	3.情報源符号化 (3)情報源符号の特徴	情報源符号の特徴を理解する。D2:1	
		7週	3.情報源符号化 (4)情報源符号化定理	情報源符号化定理を理解する。D2:1	
		8週	前期中間試験		
	2ndQ	9週	試験問題の解答 4. 情報源符号 (1)ハフマン符号	ハフマン符号化方法を理解する。D2:1	
		10週	4. 情報源符号 (1)ハフマン符号	ハフマン符号で符号化・復号化できる。D2:2	
		11週	4. 情報源符号 (2)ランレングス符号	ランレングス符号化方法を理解する。D2:1	
		12週	4. 情報源符号 (2)ランレングス符号	ランレングス符号で符号化・復号化できる。D2:2	
		13週	4. 情報源符号 (3)ZL符号	ZL符号化方法を理解する。D2:1	
		14週	4. 情報源符号 (3)ZL符号	ZL符号で符号化・復号化できる。D2:2	
		15週	前期末試験		
		16週	試験問題の解答 5.各種情報量 (1)結合エントロピー	結合エントロピーを理解し、その情報量を計算できる。D2:1,2	
後期	3rdQ	1週	5.各種情報量 (2)条件付きエントロピー	条件付きエントロピーを理解し、その情報量を計算できる。D2:1,2	
		2週	5.各種情報量 (3)相互情報量	相互情報量を理解する。D2:1	
		3週	5.各種情報量 (3)相互情報量	相互情報量を計算できる。D2:2	

4thQ	4週	6.通信路符号化 (1)通信路のモデル (2)通信路容量	通信路のモデルと通信路容量を理解する。D2:1
	5週	6.通信路符号化 (2)通信路容量	通信路容量を計算できる。D2:2
	6週	6.通信路符号化 (3)平均誤り率	平均誤り率を理解し、平均誤り率を計算できる。 D2:1,2
	7週	6.通信路符号化 (4)情報速度	情報速度を理解し、その速度を計算できる。D2:1,2
	8週	後期中間試験	
	9週	試験問題の解答 6.通信路符号化 (5)通信路符号化定理	通信路符号化定理を理解する。D2:1
	10週	7.符号理論 (1)通信路符号の性質	通信路符号の性質を理解する。D2:1
	11週	7.符号理論 (2)パリティ検査符号	パリティ検査符号を理解し、符号化と検査ができる。 D2:1,2
	12週	7.符号理論 (3)垂直水平パリティ検査符号	垂直水平パリティ検査符号を理解し、符号化と検査ができる。 D2:1,2
	13週	7.符号理論 (4)ハミング符号	ハミング符号を理解し、符号化と検査ができる。 D2:1,2
	14週	7.符号理論 (5)線形符号	線形符号を理解する。D2:1
	15週	後期末試験	
	16週	試験問題の解答	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	レポート	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	20	0	0	0	0	100
基礎的能力	40	10	0	0	0	0	50
専門的能力	40	10	0	0	0	0	50
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0